

この地球のどこかで

門倉 さとし 作詩
神野 和博 作曲

この地球のどこかで

このちきゅうのどこかでいまひらいたばかりの花がある
ちきゅうのどこかでいまうまれたばかりのそらがある

るめざめたかぜりがかけぬける
わたりかどりかかけぬけいとんでい

るさばくのせおなかれのたふかげもほうをし
くにくををせおなかれのたふかげもほうをし

すないとあらしがかきむしる
おないせいしがかきむしる

るかぜのすきまでもそらを見あげ
しんじるかみもそらを見あげなくし

いまうえをていたこどもが
いまうめをていたこどもが

1. このこるいまめをとじたこ
2. このこるいまめをとじたこ

どもがいら

1 この地球のどこかで
今開いたばかりの花がある
めざめた風が かけぬける
砂漠の背中の 風紋を
砂あらしが かきむしる
風のすきまで 空を見上げ
今 飢えている 子どもがいる

2 この地球のどこかで
今生まれたばかりの 空がある
渡り鳥が 飛んでいく
国を追われた 影法師
遠い星座が 凍りつく
信じる神も 親もなくし
今 目を閉じた 子どもがいる
今 目を閉じた 子どもがいる